

学報

学校法人 北海学園
北海商科大学
商学部〔商学科・観光産業学科〕
アジアの時代に アジアを学ぶ
Hokkai School of Commerce Newsletter



Vol.32
2022.6.20
発行:北海商科大学
編集:北海商科大学広報委員会
〒062-8607
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番
地下鉄東豊線「学園前」駅直結
TEL:011-841-1161(代表)
FAX:011-841-0801
https://www.hokkai.ac.jp
制作:(株)ラポット

主な記事

2.	新学長就任のお知らせ	2面
3.	新学部長挨拶	2面
4.	研究科長・学部長・センター長紹介	2面
5.	2021年度卒業式	2面
6.	入試結果概要・入学前教育	2面
7.	2021就職状況と2022就職動向について	3面
8.	新年次ガイダンスと履修登録、成績優秀者表彰	3面
9.	サークル紹介	3面
10.	特集座談会 ウィズ・コロナ時代の授業のあり方とは	4・5面
11.	ゼミ訪問 深澤史樹ゼミ	5面
12.	「研究のいま」田村亨教授	6面
13.	OB・OG NOW!	6面
14.	地域交流	6面
15.	高校生懸賞作文の募集	6面
16.	国際交流について・語学学習、留学報告記	7面
17.	MOS世界大会日本代表選考会で入賞	7面
18.	STAFF NOW!	7面
19.	新任教職員紹介	8面
20.	新刊紹介	8面
21.	医務室から「二十代の健康」15	8面
22.	行事予定、大学問い合わせ受付時間	8面
23.	カウンセリングルームの利用方法	8面



3会場に分けて行われた入学式（写真上：305教室、中右：新入生代表宣誓、下左から：入学祝い看板で記念写真、2305教室、1年科目担当教員紹介、多目的ホール）



令和4年度 入学式挙行

2022(令和4)年度入学式が4月4日月曜日、本学1号館3階305教室(韓国語履修者43名)、2号館5階多目的ホール(英語履修者107名)、3階2305教室(中国語履修者32名)に分けてZOOMによる中継を利用して挙行了しました。今年度の入学者は学部182名の新入生を迎えました。一昨年から続く新型コロナウイルスの影響で例年実施していた札幌ガーデンパレスホテルを利用していた入学式が難しく、入学式

後はオリエンテーションも実施できることもあり、昨年に続き学内で入学式を実施しました。1号館3階305教室において入学式式辞を伊藤昭男学長が述べ、その後、新入生代表堂下叶望さんによる代表宣誓が行われました。(事務長 柴田 敬司)



2022(令和4)年度第46回 入学式式辞(要旨)

新入生の皆さん、本学への入学おめでとうございます。
今春は、北海商科大学の新入生182名の入学を迎えることになりました。
本来であれば、新入生をお迎えして、保護者や関係者の皆様とともに盛大な入学式を挙行するところですが、新型コロナウイルス感染症対策として新入生の皆さんの健康・安全面を第一に考慮し、式の実施場所と内容を変更して実施することと致しました。
入学にあたり、私から手短ではありますが皆さんにお伝えしておきたいことをいくつか述べたいと存じます。
北海商科大学は、東京以北で最大の都市、札幌市豊平区で、地下鉄に直結した恵まれた都市環境のもとに開学し、今回で十七回目の入学式を迎えました。この北海商科大学の新たな歴史は、この度入学された皆さんが、築き上げて行くものです。教職員一同も、優れた成績で入学した皆さんと独自の校風を築いて行くことを楽しみにしております。北海商科大学は、新しいアジアの時代を見据え、言語・文化・社会を基礎に、観光を含めた幅広いビジネス活動に欠かせない基本となる知識を広く深く学ぶ教育を展開しています。
海外提携大学である中国の煙台大学および山東大学威海校、韓国の大田大学校、カナダのレスブリッジ大学とは積極的な交換留学および各種交流を長く実施してきており、国際的な人材育成に努めています。世界的な新型コロナウイルス感染症の影響からこうした交流は目下困難となっていますが、「国際ビジネスと国際観光の分野でリーダーシップを発揮できる優れた人材の育成を目指す」という本学のアドミッション・ポリシーを十分認識・堅持し、強い信念をもって学習に励んでもらいたいと思います。
次に大学とは広く知識を学び、真理を探究するところです。基礎的な教育もあれば専門的な研究もありますが、総じて、教育研究の機関として、人類の学問的・文化的遺産を、次の世代に伝達し継承するという、公共性の高い社会的使命を負っています。皆さんにも、社会を切り拓く担い手としての気概を

持って学習に取り組んでいってほしいと思います。
なお、本学では多彩なカリキュラムを用意するとともに、少人数教育を重視し、研究と教育を統合する人材育成プログラムを展開しています。皆さんには教員と学生との交流であるゼミナールを含め、用意されたカリキュラムから自らに適合した学習プログラムを形成し、創造的な自己形成に努めてほしいと思います。
また、そうした知識習得とあわせて重要なことは、人格形成に努めるということです。
民法改正により成人年齢が18歳から引き下げられました。成人となり大学生となった皆さんは、高校までと違い、自分の行動を自分で律することが求められます。大学四年間をどう過ごすかは、他人が決めることではなく自分で決めることです。有意義な時間を過ごして将来につなげることができかどうかは自分次第です。時間に流されることなく自分自身を見つめ、何をすべきかを考え、行動してほしいと思います。そうした自己鍛錬と知識の習得とを融合させて充実した大学生活を送るとともに、そのことを通じて自律した人間性豊かな人格形成に結びつけてほしいと思います。
北海商科大学はまだ歴史の浅い大学ですが、母体である北海学園の歴史は古く、創立は135年前の明治十八年、西暦1885年にさかのぼります。現在、北海学園は、北海学園大学と大学院のほか、北海高等学校と北海学園札幌高等学校を設置しており、一万一千余名ほどの学生生徒が日夜、勉学に励み、また課外活動に精を出しています。学園全体の卒業生は、道内はもとより、全国各地、さらに海外でも活躍しております。今日皆さんは、その北海学園の仲間として迎えられたわけです。
新入生の皆さんには、今日の入学式の喜びを忘れず、これからの学生生活に反映させてください。明日への飛躍を確かなものとするよう、皆さんが健康に留意し、精一杯努力することを期待して式辞といたします。

令和4年4月4日 北海商科大学 学長 伊藤 昭男

【新学長就任のお知らせ】

2021(令和3)年12月10日に開催された学校法人北海学園理事会において、伊藤 昭男(いとう あきお)北海商科大学教授が北海商科大学第4代学長に選任され、このたび就任いたしましたのでお知らせいたします。



伊藤 昭男 学長

【略歴】

1957年 北海道生まれ
1992年 北海道大学大学院環境科学研究科社会環境学専攻
博士課程修了〔博士(環境科学)(北海道大学)〕
2000年 北海学園北見大学 教授
2007年 北海商科大学 学術発展センター長
2017年 北海商科大学 商学部長
2022年 北海商科大学学長

新 令和4年度 学部長挨拶

商学部長 堂徳 将人



よりよい近未来の社会を拓く人を育む

新入生の皆さんが社会人として活躍する近未来は、グローバル化や技術革新が一層進展し、AIやIoTなどが広がるsociety5.0と呼ばれる新たな時代が到来すると予測されます。

また、我が国では少子高齢・人口減少、経済の縮小均衡や雇用・職業環境の変化が進み、厳しい挑戦の時代を迎えると考えられる中、1人1人が持続可能な社会の担い手として、多様で質的にも豊かな新しい価値を生み出していくことが求められます。折しも、本年4月1日からは明治9年以来続いた成年年齢20歳が18歳に引き下げられ、全ての学生が積極的な社会参画を通して、よりよい社会の形成者としての資質や能力を備えることが一層期待されています。そのためには「何を学ぶか(学んだか)」はもとより、「どのように学ぶか」「何ができるようになったか」を視座に置く「深い学び」こそが重要です。

本学は建学の精神「開拓者精神の涵養」を現代の社会に敷衍し、自由闊達で支持的風土の教育研究環境を発展させ、「学生の最適な学びと地域社会への貢献」を全教職員の協働により目指して参ります。

卒 令和3年度 業証書・学位記授与式 挙行

2021(令和3)年度卒業証書・学位記授与式が3月18日(金)、昨年に引き続き、今年も例年同様に札幌パークホテルにて挙行されました。新型コロナウイルス感染症の終息見通しが不明なため、本年も来賓・保護者の方々には参加をお断りして、本学教員を代表して各センター長の参加に限り実施いたしました。商学部卒業生195名(商学科118名、観光産業学科77名)の各学科を代表して、原田侑弥さん(商学科)、市川恵里香さん(観光産業学科)に卒業証書・学位記が授与されました。その後、教育免許状授与(代表・坪井優奈さん)、学業成績優秀学生各1名(商学科・金澤裕樹さん、観光産業学科・奥田彩加さん)に表彰状と記念品が授与されました。今年もコロナウイルス感染予防対策のため、例年の在学生代表の祝辞、卒業生の代表の答辞も残念ながら行うことができませんでしたが、最後に学歌を聴き、卒業証書・学位記と4年間の思い出を胸に、卒業生は足早に会場を後にしました。(事務長 柴田 敬司)

研 究科長・学部長・ センター長紹介

- 大学院研究科長
- 商学部長
- 教務センター長
- 学術発展センター長
- 入試・広報センター長
- キャリア支援センター長
- 学生支援センター長
- 国際交流センター長

阿部 秀明 教授
堂徳 将人 教授
佐藤 博樹 教授
竹野 学 教授
山田 勅之 教授
伊藤 寛幸 教授
村松 祐二 教授
水野 俊平 教授



3月18日に札幌パークホテルにおいて挙行された2021年度卒業証書・学位記授与式

入 令和4年度 試結果概要

本年度の入学者選抜も、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に迫られる状況でありました。以下、選抜区分ごとに結果を報告します。

まず「総合型選抜」では、受験生に対して事前指導を丁寧に行い、さらに合格者へは入学前教育を用意するなど、高大接続改革を踏まえた取り組みを行いました。本年度の結果は1期(10月)とⅡ期(12月)を合わせて出願者は20名、合格者は19名でした。

次に「学校推薦型選抜」のうち指定校制(11月)では、出願者が46名でした。また、公募制(11月)には9名、併設校(12月)からは20名の出願がありました。この結果、総合型選抜と学校推薦型選抜の合格者は94名となり、入学定員180名に対して5割を超える結果となりました。

「一般選抜」(2月8日・13日試験)では、出願者が92名と昨年度に比べて減少する一方、「共通テスト利用選抜」では、1期・Ⅱ期を併せた定員20名に対して、出願者が201名に達し、昨年度よりも大幅に増加しました。

全国的に早期の入学者選抜受験者の増加、長引く感染症流行に伴う経済の先行き不安等から文系学部志願者が減少する傾向にあります。本学もその例外ではないものの、本年度182名の入学者を迎えることができましたことは、本学のこれまでの取り組みが評価されてものと捉えております。

今後も引き続き、受験生にとって魅力ある大学づくりに邁進していく所存であります。(入試・広報センター長 山田 勅之)

入 学前教育

本学では総合選抜入試合格者に入学前教育を実施しております。昨年度は、Eラーニング教材と進研アド「サキドリ」プログラムの2つを使用しました。それぞれ高校までの学習の確認、大学での学びの予習を目的とし、高校と大学の学びを円滑につなげ、学生生活の不安を軽減し意欲を高めた状態で入学してもらうために行っています。

今回はEラーニング教材について紹介します。この教材は、教育工学を専門とするニールセン教授が中心となり作り上げたシステムで、国語と英語の2科目があります。国語は漢字、四字熟語、語句の意味、対義語、類義語、接続詞、敬語の各分野を学び、英語はReading、Grammar、Listening、Speakingの4項目をそれぞれ3段階にわけて学びます。

両科目最終試験に合格して終了となります。クイズ形式を取り入れたり、ドラッグ&ドロップをしたり、楽しみながら学べる上、目標の正答率がクリアするまで何度も挑戦できるといったEラーニングならではの教材です。学習者同士の意見交換などの機能も加えるなど今年度はさらに充実したシステムに改善していく予定です。(入試・広報センター 保坂 智)



国語のEラーニング教材

就職状況および2022年度の動向について

2021年度(2022年3月)卒業生の就職決定状況は以下です。商学部全体で96.8%、学科別では商学科96.4%、観光産業学科97.3%でした。就職先としては、卸売・小売が4割を占め、次いで、情報通信、サービス、建設・不動産・物品賃貸業が続きます。本社所在地については、道内企業が7割を占めます。

次に、今年度(2022年度)の就職活動の動向については以下です。

新年度に入り2023年3月卒業生の就職活動は、これまで以上に多様な局面を迎えています。少数とはいえ、意中の企業から内々定を獲得し就職活動をほぼ終了する学生がおり、“やるべきときに、やるべきことに対して努力を惜しまずに活動してきた学生には、それなりのよき成果が伴う”ことを裏付ける結果をえました。とはいえ、多くの学生は就職活動を継続しており、4月より本格的に就職活動を開始した学生は、自己分析、企業研究などへ着手している段階です。大学入学のタイミングでコロナ禍に見舞われ、講義をはじめとする学生生活のほとんどがオンラインとなった世代にとっては、対面での就職活動をいかに効果的に進めていくかなどが焦点となるでしょう。このような状況下で、就職活動を取り巻く環境の変化をいかにとらえ、そのための対策をいかに練るかなどが肝要となります。

今後も、学生ひとり一人が充実した就職活動を展開できるように、キャリア支援センターとして手厚くサポートして参ります。(キャリア支援センター長 伊藤 寛幸)

新年次ガイダンスと履修登録、優秀学生表彰



3月24・25・28日に行われた在学生の履修登録

2022(令和4)年度前期の在学生ガイダンスは、昨年同様新型コロナウイルス感染症対策としてCoursePowerによるオンラインで、3月16日から16日間にわたり実施されました。また、新入生オリエンテーションは4月4・5日に会場を3カ所に分散させ全席座席指定の下で、遠隔授業ツールであるZOOMを利用した同時中継により実施されました。全体オリエンテーションの実施時間は、いずれも午前10時からの2時間に短縮され、新入生達は終了後直ちに帰途につきました。一方、在学生は3月24・25・28日に、新入生は4月7日に感染症対策を講じたPC教室で履修登録を行いました。

例年、本学では新2・3年次の学生を対象に、北海商科大学教育振興資金による学業成績優秀学生・課外活動優秀学生表彰を実施しています。2021(令和3)年度においても、学業成績優秀学生として通算GPA(Grade Point Average)ポイントに基づく成績評価で上位3位までの学生3名(新3年次は一部同点のため4名)を選出し、履修登録日である3月24・25日の両日に学長より表彰するとともに、奨励金を授与しました。このたび見事に授賞された皆さんには、授賞を契機として今後もモチベーションを一段と高め、学業成績の一層の向上や課外活動で多くの成果をあげられるよう期待しています。

(教務センター長 佐藤 博樹)



2021(令和3)年度 学業成績優秀学生表彰者	
新2年生	菅原 花菜
	平尾 菜奈美
	菅原 姫由
新3年生	森谷 朱梨
	佐藤 初美
	篠永 萌美
	山崎 彩巴

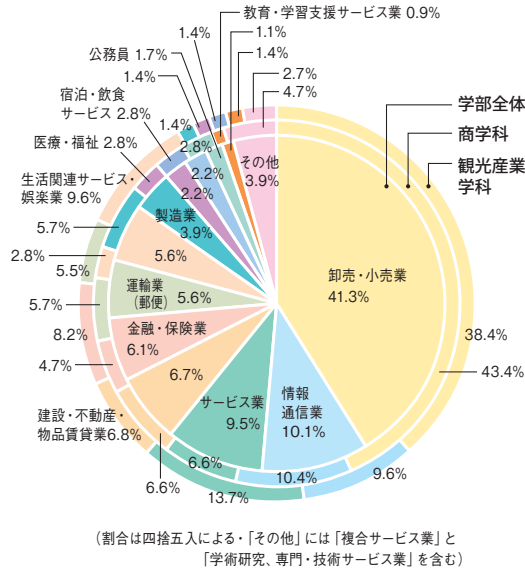
※敬称略



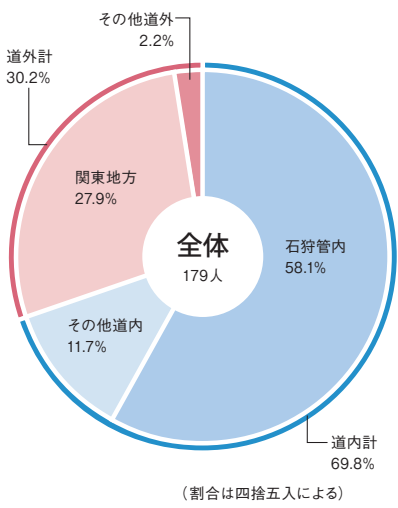
学業成績優秀学生の皆さんと伊藤学長(写真上:新2年生、下:新3年生)

2022年3月卒/業種別就職状況

円グラフ内側から、学部全体、商学科、観光産業学科



2022年3月卒/本社所在地別就職状況



2021年10月31日に北海学園大学と合同で行われた学内会社説明会

サークル紹介

大学の新型コロナウイルス感染症対策や北海道のまん延防止等重点措置により、たびたび活動の自粛を求められたサークル活動でしたが、新年度に入り一部サークルで感染対策を徹底しながらの活動再開の動きがみられるようになりました。

本学には5月1日現在、軟式野球部、フットサル部、バレーボール部、テニス部、バスケットボール部、陸上部の体育系6サークルと、中国語、韓国語、ツーリズム研究会、教育研究会、軽音、環境ボランティアの文化系6サークルがあり、これに加えてサークル連合執行部、大学祭・体育祭実行委員会の運営団体2団体があります。特に環境ボランティアサークルは3年ぶりの活動再開となります。

当分の間、サークル活動には活動計画書や感染防止対策取組書の提出が毎回必要となり、本格的再開からはまだ遠いように感じられるのも事実です。しかし学生の自主的で自発的な参加を前提とするサークル活動に



は、学生生活にメリハリを与え幅のある人間関係を築きコミュニケーション力を培うといった側面があり、こうした長所に少しでも触れられることを願っています。

(学生支援センター長 村松 祐二)

2022(令和4)年度 サークル・運営団体一覧

体育 軟式野球部	文化 中国語サークル(歓々喜々)
体育 フットサル部(REGISTA)	文化 韓国語サークル
体育 バレーボール部	文化 ツーリズム研究会
体育 テニス部	文化 教育研究会
体育 バスケットボール部	文化 軽音サークル
体育 陸上部	文化 環境ボランティアサークル
運営団体 サークル連合執行部	運営団体 大学祭・体育祭実行委員会



写真上:環境ボランティアサークル、写真下:履修登録時の学内

◆特集 座談会

コロナ禍で対面による授業が制限されて約2年。感染症対策のルールも定まり、文部科学省は対面を主とした授業を行うよう全国の大学に求めています。同時に、オンライン・オンデマンドによる授業もスタンダードになりつつあります。今後の授業方法の課題や展望について、4名の教員が話しました。

ウィズ・コロナ時代の授業のあり方とは ～対面とオンライン・オンデマンド授業の展望と課題

出席者

相浦宣徳 商学科 教授（司会）

橋元理恵 商学科 教授

山田勅之 観光産業学科 教授

澤内大輔 商学科 准教授

グループワークに好反応

相浦 コロナ禍で対面授業ができなくなって、2年くらい経ちました。それからくらべると社会的にも落ち着いて、ルールも出来上がって、我々もやりやすい環境になってきたのではないかと思います。学生もパソコンやインターネットへの接続環境もずいぶん良くなったと思います。授業への工夫も進んでいると思いますが、現在どのような形で行っていますか？

澤内 60～70人の講義を2つ担当していますが、感染防止のため教室の定員が従来の半分なので、2グループに分けて1週間おきに対面にしています。授業形式は、対面と同時にオンラインでライブ配信し、オンデマンド（録画）も行うハイフレックス型です。ゼミは人数が少ないので対面ですが、これまで2年くらいほとんどオンラインでの講義だったということで、班を分けてグループワークをやってもらうなどして、学生同士で話し合う機会を多く設けるようにしています。見ていると、学生は楽しそうに取り組んでいます。



●司会
相浦 宣徳 教授

橋元 今年度は履修者が13～17名なので、対面で行っています。昨年度は北海道の警戒ステージ指標と実効再生産数（1人の感染者が全感染期間に新たに感染させる人数の平均値）をもとに基準を設定して、対面かオンラインかを決定していました。オンラインでは毎回課題を出して提出してもらいフィードバックするという形式をとっていましたが、オンラインと対面の切り替えに学生は柔軟に対応してくれました。

山田 11名と78名の2つの講義を担当しています。今年



●商学科
橋元 理恵 教授

は、11名は対面のみ、78名はハイフレックス型で行っていますが、前後の授業の関係でどうしても対面がいい、またはオンラインがいいという学生の要望に合わせて自由に選べるようにしているため、参加人数が毎回変わります。今のところ78名のうち20～30名くらいが対面で授業を受けています。

相浦 個々の教員としての課題と、学生の出欠管理や大学全体の授業運営に関する課題についてはいかがでしょう？



●観光産業学科
山田 勅之 教授

授業間の連携強化を

澤内 オンラインは基本的にスライドと声だけになってしまい、身振り手振りなども含めて配信できていないので、効果的に情報を伝えることができていないかは疑問です。学生の管理も、とくにオンデマンドの場合は本当に視聴したかどうか確認するのは難しい。そこで、きちんと見ていないとわからないような課題を出すなど、視聴させる対策を講じています。ゼミは、飲み会などコミュニケーションの場もないので、学生同士の結びつきをどう強めるのが課題です。



●商学科
澤内 大輔 准教授



澤内先生の講義「経済と社会の仕組み！」（5月11日）



山田先生「観光研究ゼミ」のフィールドワーク（豊平神社訪問5月19日）





橋元 対面で気をつけるべきは感染対策ですね。必ず座席表どおりに座ること、不織布マスクを正しくつけること、登校時の体温チェックや授業前後の手指消毒の徹底を学生にお願いしています。一昨年はオンデマンドによる課題提示型授業をしましたが夜中にレポートを提出してくるなど学生の生活リズムが乱れていたのも、昨年度はリアルタイムオンラインに切り替えました。大学全体の課題としては、ほかの大学では感染状況に応じたステージ設定をして、それに応じた動き方のルールを決めているところがありますが、本学もルール作りが急がれます。

相浦 私もそれを強く感じます。橋元先生のように独自にルールを決めて、学生のコンセンサスを得るとするのは素晴らしいのですが、大学全体としてもさらなる検討が必要だと思えます。また、前後の授業との関係から、情報機器などの設備増設も重要です。

山田 私の場合、昨年度までハイフレックス型で行っていたのですが、それだと学生はオンデマンドを選択しがち。橋元先生と同じく深夜にレポートを出してくるパターンも見られました。そこで、就活やコロナに感染したなどやむを得ない事情がある場合に限りオンデマンド可というルールにしました。オンラインでも、ただ画面をつけているだけで視聴していない学生が想定されるので、突然課題を出して、答えるか答えないかで出欠管理しています。

また、感染症対策を踏まえて、個々の授業がハイフレックス型である場合が多いけれども、前後の授業との連携が必ずしも取れているわけではない状況が見受けられます。さきほど少し言及しましたが、たとえば、前の授業を自宅でオンライン受講した場合、私の授業を対面で受講することは通学時間の関係から困難であるため、必然的にオンライン受講しか選択肢がない状況が発生しています。また、学内でオンライン講義を受講するにしても、学内のパソコンにカメラやマイクがないので、視聴のみにとどまるのが現状です。機器の整

備も含めて、授業に対する全学的なマネジメント管理が一層重要かと思われます。

対面とオンラインの両立に向けて

相浦 今は感染が落ち着いているとはいえ、おそらく対面だけではこなせないでしょう。ある程度の機器は大学で用意するなど、オンラインとの組み合わせに備えないといけませんね。各自で今後に備えていることはありますか？

澤内 万が一、自分が感染しても授業が続けられるように、オンラインの教材をストックしておくことは有効だと思います。ゼミの場合は、対面でできているうちに学生同士の結びつきを強めておくことでしょうか。オンラインでの議論だと、どうしても必要最低限のことしか言わなかったりするので、それだけだと大学のゼミで学ぶというには物足りない。対面時のコミュニケーションの強化が必要です。

橋元 オンデマンドだと早送りで視聴する学生もいるようなので、学生がどこまで理解しているのかが疑問です。なるべく時間割どおりにリアルタイムオンラインで行いたいと思っています。今後は、さまざまな授業形態を展開しなければいけないということになってくると思います。

山田 オンラインにしるオンデマンドにしる、機器が使えるようになってきたので、感染状況に応じてすぐに切り替えられるようになりました。それと録画を撮ってききましたので、蓄積もそれなりにできてきたので、それを活用できる面もあると思います。ただ、IT機器を使った授業での学習効果を本学ではまだ客観的に計っていないのではないのでしょうか。データを取ったうえで改善点を明確にして、より良い授業の展開を目指す必要があると思います。

相浦 授業は学生同士や教員と交流し、議論や仲間を作る場と考えると対面を重視すべきと思いますが、対面だけでは立ち行かない局面になりつつあります。個々の学生の事情もありますし、対面とオンラインの授業が両立できるような、か



相浦先生の講義「物流システム論」（2021年6月10日）

つ対面授業がなるべく多く展開できるような方策をとっていかなければいけない。

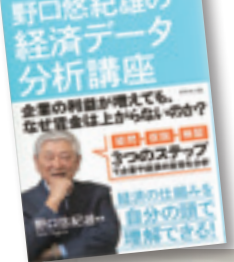
方策としては、運用の話になりますが、前後の授業との組み合わせの整合性をとる。そのための設備の問題、例えばカメラ付きパソコンなどの設備増設とその管理体制など、やはりルール決めが必要です。また、学生の理解度の把握方法についてもさらに工夫していかなければならない。教員それぞれがやらなくてはいけないし、大学全体としてもさらに改善に努めたいと思います。

* 座談会はマスク着用などコロナ対策を万全にした上で行われました。（4月28日実施）



▲深澤ゼミⅡ・Ⅲの皆さん

◀ゼミで使用しているテキスト



今回のコマースゼミナールⅡでは初めての受講者が多く、全員で選択した著書の輪読を中心にレジュメ作成、プレゼン技術の向上を目標に進めることにしました。15回で行われるゼミの中で各ゼミ生が3回の発表機会を得られるようにします。まずは全員で輪読する著書の決定から行いましたが、選ばれた2冊、野口悠紀雄「経済データ分析講座」、伊藤元重「ネットニュースではわからない本当の日本経済入門」は専門性を深めるためにもふさわしい内容のテキストでした。まだゼミは始まったばかりでしたが、司会者、報告者を毎回順番に担当することでゼミは運営されます。

ゼミナールは専門科目の講義などで学んだことをさらに深め、専門的な研究を進めるためにじっくりと取り組むことができますが、深澤准教授はセミスターごとに展開するゼミをどのように活かしていくかを常に考えています。ゼミ生は4年生2名、3年生が7名の計9名ですがコマースゼミナールⅠからの継続者は2名です。

本来であれば、経済理論、経済システム理論など専門科目で担当する科目につなげて段階的に学習を深めていくことも重要ですが、研究に必要な基本的な学び、例えば資料検索、資料作りから始まるレジュメ作りや報告、論文作成に必要な文章力を養うことなど、それらをしながら商学を学ぶことの可能性を追求しています。

この日司会を担当した鈴木悠樹斗さん（商学科3年生・下写真）は「深澤先生の人柄に惹かれてゼミナールⅠから続いて履修しています。このゼミでは、意欲を持って働ける社会、経済などのことを学べると思って選択しました」と言います。鈴木さんはこの日の報告者伊藤さんの輪読の節目に、自ら気づいたことを織り交ぜながら他のゼミ生に発言を促していきます。司会である鈴木さんの問題意識がきっかけとなり、指名されたゼミ生に繋がっていきます。ゼミは司会者の進行のもとにゼミ生主体のディスカッションが進みます。その合間に深澤先生からは「何故だろう」という問いかけが絶えません。1人の発言から他の人に繋がっていく問いかけの連鎖が面白く、深澤先生は「どういう意味を持ち、なぜそうなるのかを問い続ける姿勢は、ゼミ以外でも日常的にニュースなどに接した時も経済を題材に少し考えるようになっていくようです」とディスカッションの効用をあげます。

ゼミ訪問 ◆ 深澤 史樹 准教授 コマース研究ゼミナール ◆



経済や社会のグローバル化、情報化が進むなか、商学科では変貌しつつある現代ビジネスに関する専門的知識を幅広く学習するために、2年次後期（第4セミスター）に「コマース研究ゼミナール」が開講されます。それらの理解をさらに深め、習熟度を高めるために、3年・4年次前期には「コマース研究ゼミナールⅡ・Ⅲ」が開講されます。その中から深澤史樹准教授のゼミを訪ねました。

「ディスカッションを活発にしていくには、司会者がむしろ報告者より工夫を求められます。もちろん、報告者のレジュメ制作の完成度もディスカッションの理解を深めていく上で欠かせません。それぞれのゼミ生に個別目標をしっかりと持ってもらえるように、ゼミ最終盤にはそれぞれ独自の興味対象で報告会を行います。最終的には、このゼミで学んでよかったと感じて欲しいですね」と深澤先生は語ってくれました。

研究のいま

「アセアン航空市場の現状と今後 ～コロナ禍の先の空の世界～」

●田村 亨 教授



私の研究テーマは国内外の航空・空港政策です。この分野の研究は、1920年代の航空機による商業輸送から始まり、100年余りの歴史しかありません。世界史に残るこの度のコロナ禍は、航空政策にも大転換を迫るものであり、その一端をアセアンの視点からお伝えします。

2020年春、国際民間航空機関から公表された国際航空旅客需要推計値によると、国を超えた人の移動がコロナ禍前の状況に戻るのは2024年以後とされていました。しかし2022年春に同機関は、コロナ禍の長期化によりリモートワークやオンライン会議が浸透し、国際ビジネス客を中心にコロナ以前の状況に旅客需要が戻らないと発表。その上で、コロナ禍前の旅客需要の70%に戻ることを新たな目標値とし、その達成年も2年延期しました。ここで重要なことは、ワクチンパスポートの導入が遅れているアジアの国際航空旅客需要の回復が、E Uや米国に比べて遅れていることです。

ところで皆さんは、アセアンに単一航空市場を作ろうという動きを知っていますか。これは2017年からの動きで、市場が完成すればパスポートコントロールの不要な自由渡航圏が生まれます。アセアンを構成する10か国が協働して市場を構築していた2021年6月に驚くべきことが起こりました。それは、アセアンとE Uとのブロック間に「航空便数を自由化する包括的航空協定」が締結されたのです。E Uは、国際航空旅客需要が戻らないアセアンの状況を商機と捕らえて、E U内の自由渡航ルールをアセアンに導入することに成功したのです。わが国は2016年からアセアンとの航空協定を協議中でしたが、大きく後れを取ってしまいました。今後、日本など第3国の航空機材がアセアンの空を飛ぶことは、大変難しくなります。

アセアンにおける私の研究対象地域は観光立国を目指しているタイ国です。コロナ禍直

＊ASEAN（アセアン）東南アジア諸国連合加盟国はインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジアの10カ国



写真上：アセアン範囲地図
写真右：北海道とアセアンを直行便で繋ぐ新千歳空港

前の2020年1月に実施したタイ国交通省へのヒアリング調査では、米国に代わってアセアンを主導する中国の動きとともに、自由経済圏の国際ルールを持っているE Uの台頭が話題に上りました。タイ国の官僚達は「アセアンが描く未来像が日本のものと大きく異なる」と指摘し、日本は新興国の置かれている状況を勉強するべきだと言っていました。

ロシアがウクライナに侵攻した現在、通商の自由化を口にする人は世界中に誰もおりません。通商は、敵対的企業買収や知的財産の窃取を狙ったサイバー攻撃のみならず、他国に経済制裁を加える武器となっているからです。今、わが国にとってアセアンとの航空協定締結は、対外経済政策を国家戦略に位置付けて、信頼できる地域どうしが連携して自由貿易を高度化できるか否かという正念場にあるのです。



O B・OG NOW!

●北海道旅客鉄道株式会社
新千歳空港駅営業係

生川 幹久さん [平成29年(2017)年 商学部観光産業学科卒業]
イカワ ミキヒサ



北海道に根差し、北海道の発展に貢献するために

私は22年間育った北海道に貢献でき、地域に根差し仕事がしたいと思い、鉄道、電力、ガスなど社会の基盤となるインフラ業界を中心に就職活動を進めていました。

その中で縁があり入社することになったのが、北海道旅客鉄道です。JR北海道は、お客様に安全な鉄道輸送サービスを日々提供するという重要な使命を担っています。また、24時間365日、北海道の鉄道の安全運行を支えるために、業務を遂行している会社です。

そこで私は、改札口できっぷの確認や精算、みどりの窓口で、きっぷや定期券をお求めになるお客さまへの発売や変更、払い戻し、お身体の不自由なお客さまのサポートや、駅や列車内のお忘れ物の保管や捜索、引き渡しなど多岐にわたる業務を行っている駅で働いています。お客さまのご案内窓口として、さまざまなニーズにお応えできるように努めています。入社して初めて配属された駅は洞爺駅です。洞爺駅では、インバウンドのお客が多いことから本学で学んだ、中国語を活かしインバウンドのお客様が不自由なく快適に旅行を楽しめるようなサポートをしてきました。また、洞爺湖は観光地でもあるので、地域を活性化させるために、観光産業学科で得た知識を使い洞爺湖の魅力を発信してきました。

現在は、北海道の第一印象が決まると言っても過言ではない新千歳空港駅に異動となり働いています。新千歳空港駅は空港ビルや航空会社との連携が必須であり、他では得られない経験をしています。また、乗降人員が札幌に次ぐ多い駅でもあり、北海道の玄関口として日々多くのお客様をお出迎えしています。そこでは洞爺駅で培った経験を基に仕事をしています。私はこれからも北海商科大学で学んだ知識を活かし、お客様が安心して鉄道を利用できるよう努め、北海道に貢献していきたいと思っています。



勤務先のJR北海道新千歳空港駅にて



地域交流が 始まる



環境ボランティアサークルが花壇植栽参加

新年度に入り、北海商科大学の学生と地域の交流が始まりました。5月22日に環境ボランティアサークルの学生が、豊平地区町内会連合会の花苗植栽活動に参加し、町内の方々や隣接する札幌留学生センターの皆さんと一緒にキャンパス周辺の花植えを行ないました。町内会の皆さんの指導のもと、大学周辺の街路花壇にマリーゴールドなどの苗を移植しました。

今回、学内サークルとして3年振りに活動を再開し、植栽活動に参加した環境ボランティアサークル代表の豊崎未佳さん(観光産業学科3年生)は「部員はまだ少人数なので、興味のある方は是非入部してください」とのことです。

こうした大学の取り組みは、北海商科祭や公開講座など様々におこなってきましたが、今後とも地域の方々と交流を重ねていきたいと思っています。(学生支援センター長 村松 祐二)



植栽活動に参加した豊平地区町内会連合会の皆さんと環境ボランティアサークル(前列中央)

高校生 懸賞作文の募集

(主催：北海商科大学 後援：北海道新聞社)

北海商科大学主催(後援：北海道新聞社)の北海道の高校生を対象とした懸賞作文の募集は、今年度で記念すべき10回目をむかえます。この高校生懸賞作文は、高校生の鋭い観察眼で現代の市場、マーケティングへの関心を文章でまとめることを主旨としています。北海道内でも年々浸透し、それに伴い応募者数も増加しています。

作文のテーマは、「①日本も含めアジアの人たちに広く薦めたい私のまちな観光スポット」「②日本も含めアジアの人たちに広く薦めたい私のまちなグルメ」「③日本も含めアジアの人たちに広く薦めたい私のまちなお土産」の中からひとつを選んでいただきます。

締め切りは2022年9月16日(金)です。応募要項、パンフレットは6月20日頃に道内の高校、図書館に発送するとともに本学のホームページでもお知らせします。

入賞者には表彰状と副賞(図書券1位3万円、2位2万円、3位1万円)が渡されます。高校生のお知り合いの方がいらっしゃいましたら是非ご案内ください。

(入試・広報センター 橋元 理恵)



国際交流について

2020年春に始まった新型コロナ禍も3年目を迎えてようやく落ち着きを見せ、その間中断を余儀なくされた国際交流の再開を検討する時期になりました。現在、日本国外からの留学生の入国も制限付きながら可能な状況となっています。北海商科大学は中国（山東大学【威海】・煙台大学）・韓国（大田大学校）・カナダ（レスブリッジ大学）の協定校と交流事業（学生・交換教授の派遣・受け入れ）を行っています。

韓国では4月に入って感染症の拡大が収まりを見せ、コロナ関連の規制も順次緩和されている状態です。今後、韓国の状況を見極め、早い時期での交流の再開に踏み切りたいと考えております。ただし、残念ながら今年度前期は韓国からの交換教授・留学生の受け入れは行えない状態です。

中国では感染症の拡大から出入国管理が非常に厳格になっており、交流の再開には今しばらく時間が必要な状態です。残念ながら今年度前期は中国からの交換教授・留学生の受け入れは行えない状態です。一方で、中国への国費留学を希望していた本学学生2名がオンラインで中国の大学の授業を受講し、単位を取得するという成果も上げております。

今後、新型コロナ感染症が収束し、学生のみなさんの安全が完全に保証された後、国際交流事業を順次再開していく予定です。また、本年度はカナダ・レスブリッジ大学への研修生派遣の年に当たっておりますが、先方および北海学園大学との協議の末、本年度は見送らざるを得ないとの結論に達しました。（国際交流センター長 水野 俊平）



写真上：協定校のカナダレスブリッジ大学、写真下左から山東大学【威海】、煙台大学、大田大学校

留学報告記

●観光産業学科4年 印牧 明日香



私は1年間、オンラインで国費留学をしています。現地に行きたく希望した留学でしたが、現地に行くことは叶いませんでした。

そのため、留学中の思い出としては、道内旅行と自動二輪免許を取得したことです。ただ家で講義を受けるだけでは勿体ないので、北海道・日本を知るいい機会だと思って、稚内、知床、函館などへドライブに行きました。

3年時にリモート授業を受けていたため、オンラインで授業を受けることに対して、不安はありませんでした。しかし、4年生になり難易度はあがり、予習復習をしないと、授業についていくのがやっとになりました。

授業中基本的にはカメラもマイクもオフのままです。わからない時も自ら発言しなければ、授業はどんどん進んでいきます。対面であればすぐに先生に聞けますが、オンラインだとチャットを通して聞き、先生の返信を待つしかありません。また、授業が終われば日本の日常と変わらないので、中国語を使う機会はありません。

オンライン留学の難しさ、大変さを日々痛感していますが、やりがいはあります。家にいながら留学できる環境に感謝し、残りの留学生活も少しでも成長できるよう努力し、充実した生活をしていきたいです。



写真左・中は学内で北京第二外国語学院のオンライン講義を受ける印牧さん。写真右は自宅での受講。

外国語検定・スピーチコンテストについて

韓国語能力試験について

韓国語能力試験（TOPIK）は韓国政府が認定・実施し、韓国教育財団が主管する唯一の韓国語試験です。本年度の韓国語能力試験は本学を会場に4月10日、7月10日、10月16日に実施が予定されています。4月には13名の本学学生が試験に臨みました。7月の試験には19名の本学学生が受験する予定です。本学では韓国語能力試験の受験者を対象に独自の試験合格対策を実施し、合格率を高める努力を行っています。

本学で韓国語履修者の実力は年ごとに向上しており、入学時点で既に相当な実力を持っている場合も珍しくありません。その一方で入学時に韓国語に興味を持ち、韓国語を初歩から学びたいという履修者も増加しています。このような需要に応えるため、本学では入学時にレベルテストを行い、履修者を初級・中級・上級の3クラスに分け、本学独自のオリジナル教材を使用し、実力に合わせた授業を行っています。クラス分けをすることによって、自分の実力に合わない無理な努力を強いられたりするストレスや、すでに学んでしまった基礎的な内容を再度学ばなければならないという無駄を省くことができ、学習の効率を向上させることができます。また、1年次から4年次まで持続的に韓国語を学ぶことができるのも本学の特徴です。3・4年次の時点で韓国語能力試験の上級（5・6級）にまで到達させるのが、本学の韓国語教育の目標です。（国際交流センター長 水野 俊平）

第21回「漢語橋」予選に入賞

5月29日、第3回全日本大学生中国語スピーチコンテスト及び第21回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト東北・北海道ブロック（北海道・東北・甲信越地方）大会がオンラインで開催されました。今回の予選大会は参加者が多く、ハイレベルでした。本学からは観光産業学科3年の池上歩実さんが出場し、「天下一家一起向未来」をスピーチし、さらに中国百科知識クイズにも正答し、書道の腕前を披露しました。池上さんのこれまでの努力が実を結び、優れた表現力は審査員から高い評価を得て、見事に二等賞を獲得しました。

また、本学で中国語を学び、中国の国費留学生に選ばれて上海にある華東師範大学に留学し、現在、青山学院大学大学院で中国の研究を行っている柴田尚樹さんも東ブロック（関東、北陸、静岡）で二等賞を獲得しました。本学で中国語を学んでいた二人がそろって、6月18日に東京で行われる全国大会に出場することになりました。更なる健闘を祈ると同時に、今後も本学から多くの出場者が続くことを願っています。（中国語担当 劉 玗・蘇 林）



賞状を手にした池上歩実さん（右）と劉先生

MOS 世界学生大会 2022日本代表選考で入賞



入賞した福井真輝さん（商学科4年）

ワード部門で北海道からただひとり入賞

日本全国から1万4千人を越える学生が参加し、2月に行われたMOS（マイクロソフトオフィス スペシャリスト）世界学生大会2022日本代表選考会（MOSを通して、「社会人として必要なスキルを身につけ、卒業後に国際的に活躍できる人材を育成すること」を目的として開催している世界規模の大会）で、3部門のひとつワード部門（入賞者20名）に本学商学科4年（参加時は3年）の福井真輝さんが北海道からただひとり入賞しました。

福井くんは3年次から履修できる多様な講座の中から、「社会に出た時に役立つのではないかと」MOS講座を履修したそうです。実際にアルバイト先の居酒屋で仕入れや人件費などの計算、メニューのフォーマット作りなどを相談され、勉強したことを試す機会が得られました。アルバイト先で、とても頼りにされたそうです。さらに勉強して資格取得を目指し自主的な勉強を毎日欠かすことなく取り組みました。その結果が今回の入賞につながりました。

「本学は自ら学ぼうと思えば資格取得に繋がる講義が多く、情報管理論の講義では、講師の澤谷先生から分からないことに対して丁寧にアドバイスを頂けたことでMOSの入賞に繋がったと思います」と語ってくれました。

4年生になり就職活動も始まり、自分の学んだことを役立てたいという思いでこの資格を活かせる企業を希望して就職活動を始めました。既にMOSの評価を得て内定も得ているそうです。

STAFF NOW!

宿村 元邦

ヤドムラ モトクニ

業務：学生支援（奨学金、サークル活動等）担当

趣味：釣り、テニス、国内旅行



新型コロナウイルス感染症拡大以前のガイダンスで

皆さん初めまして。私は、各種奨学金、課外活動に関するサポート業務、大学祭、体育祭など学生が主体的に行う大学行事のサポートを担当している学生支援課の宿村と申します。奨学金は、給付型や貸与型、学園・札幌市奨学金など多岐に渡ります。皆さんが学費や生活費のことで困っていることがあれば、その都度対応できる制度のアドバイスを行いますので、事務室までいらしてください。

コロナ禍のため、2019年の「第14回北海商科祭」を最後に大学祭やサークル活動をこの2年間行うことが出来ませんでした。今年こそは活動を再開しようとしていますので、新たなメンバーとして参加してみませんか？

私が、学生生活で大切だと思うことは、サークルや大学祭を通して、学生が互いに意見や情報を交換することにより目標を達成すること、生涯の友人と呼べる方々との出会いの場である大切な時間だと思います。私はこの大切な時間を皆さんと過ごすことが出来るように全力でサポートいたします。



写真は2018年の北海商科祭で実行委員との記念写真

【新任教職員紹介】



■新任教員
池ノ上 真一
イケノウエ シンイチ
教授

観光地理論や環境科学論などの専門領域の授業を担当しています。大阪・堺の生まれ育ちです。大学は福岡で、人間とシステムの融合を標榜する芸術工学を学び、特に建築や都市計画などを専攻していました。観光が重要な要素である沖縄県・竹富島や岐阜県・白川郷、山口県萩市、函館市や江差町など、海の道や文化遺産を基軸とした観光まちづくりをテーマに研究活動を行っています。

学生時代は、スキューバダイビングに夢中で、お客さんを連れてツアーも行っていました。現在も、なんとか体型維持のために水泳を続けていますが、美味しい食べ物豊富な北海道の誘惑に負けそうです。函館にある自宅は、学生と一緒に古民家をリノベーションしたもので、国の登録有形文化財でもあります。地域での実践をきっかけとし、多感な時期の皆さんにとって有効な学びの場をつくりたいと考えています。一緒に観光まちづくりの現場へ出かけていきましょう。



■新任教員
澤内 大輔
サワウチ ダイスケ
准教授

専門は農業経済学で、主に農産物貿易や環境問題について研究してきました。今年度担当する科目は、国際経済の動き、経済と社会の仕組み、比較経済論などです。学生がいかに楽しく学べるかを考えながら講義準備をしています。ゼミでは、テキストの輪読をしています。ゼミ生を班分けし、学生同士の議論が活発になるようグループワークも取り入れています。コロナ禍で他の学生との直接の交流機会が少なかった学生が、生き生きと議論している様子を見るとこちらも嬉しくなります。

学生の皆さんにはゼミや講義を通じて、社会に出て役立つ「学ぶ方法や学ぶ姿勢」を身に着けてほしいと考えています。大学では読む、聞く、書く、話すといったこれまで培ってきた技能を磨いたうえで、調べる、考えることで知識を身に着けることに挑戦してください。私自身も幅広い研究テーマにチャレンジし、調べ、考えた経験を教育にフィードバックしていきたいと考えています。



■新任教員
郭 倩
カク セン
講師

現代ビジネス、東アジア観光、観光発展史を担当する郭倩です。私の故郷は中国天津市です。2009年に初めて短期留学生として北海商科大学に1ヵ月間の留学を経験し、それ以降5年間、北海商科大学大学院において観光に関する研究をしました。留学当初、北海道の観光地は多くの中国人観光客で埋まっており、北海道の何が中国人をこうまで惹きつけるか研究してみたいと思いましたが、2011年の東日本大震災や2012年の尖閣諸島抗議デモなど、両国間の人的交流に大きな影響を与えた事件を経験しました。しかし、2013年以降、中日両国間の観光が再び盛んになり、とりわけ中国人の訪日旅行が急増し、2015年の「爆買い」の盛況はいまだ記憶に新しいです。その時、観光は最も友好的、平和的な人と人とのコミュニケーションを実現する社会活動であることを確信しました。私の講義を通して、次世代の観光の担い手に対し、的確な情報と新しい視点を提供し、本来の観光の「異文化交流促進」としての役割をより発揮することを抱負したいと思います。



■新任職員
栗原 隆文
クリハラ タカフミ
教務課長

北海商科大学の前身である北海学園北見大学を卒業後、北海学園大学教養部に配属。以降、共通教育・研究センター、庶務課学術・国際交流係及び庶務係、会計課を経て、この度本学に教務課長として配属されました。

母校でお世話になった先生や、事務室の同僚、そして後輩である皆さんにお会いすることができ、今までとは違った心地良さを感じています。

新鮮な気持ちで業務に臨みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



■新任職員
狩野 康弘
カノウ ヤスヒロ
入試・広報センター

令和2年3月末に道立高校を定年退職した後、北海道庁経済部産業人材課での再任用勤務を経て、本年4月から本学で入試・広報の業務に携わることになりました。前職では、学校や教育行政での経験を生かし、教育現場と労働行政を繋ぐ仕事等をしておりましたが、これからは、学生の皆さんのいきいきとした学びを近くに感じながら、心機一転、入試・広報に関わる新たな仕事に取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願いします。



■新任職員
木村 朱里
キムラ アカリ
キャリア支援センター

2021年に北海学園大学法学部法律学科を卒業し、民間企業に勤めていましたが、この春から北海学園に入職し北海商科大学に配属されました。キャリア支援センターの担当として、将来を担っていく学生の皆様のお手伝いができたらと思います。

不慣れでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆様のお役に立てるよう日々精進して参りますので、よろしくお願いいたします。

医務室から『二十代の健康』^⑬ 医務室 西川 葉子

腸活で免疫力アップ!!

腸活とは、腸内環境を整えて腸が持つ本来の力を取り戻す活動のことです。腸には病原菌から身体を守る免疫細胞の約70%が存在するだけでなく、免疫力を高める機能があることが分かってきました。それ以外にも便秘やアレルギーの改善、メンタル面の安定などの効果があるとされています。腸活の3本柱は『食事』『睡眠』『運動』です。

1.食事

積極的に取り入れてほしいのは、乳酸菌やビフィズス菌などの善玉菌（有用菌）を含む発酵食品と善玉菌のエサとなる食物繊維やオリゴ糖などです。野菜やきのこに多く含まれる不溶性食物繊維が便のかさを増やし腸の刺激になります。水溶性食物繊維はわかめなどの海藻類やこんにやく、果物などです。

具沢山味噌汁やヨーグルトにはちみつやバナナ、冷奴にキムチなどがおすすめの食べ合わせです。

2.睡眠

質の良い睡眠をとって、自律神経を整えることが腸活には大切です。就寝前は音楽を聴く、お香やアロマをたくなど自分にあったリラックス方法を見つけましょう。睡眠直前のパソコンやスマホは、ブルーライトの刺激により、眠りが浅くなり睡眠の質が悪くなりますので控えめにしましょう。

3.運動

腸のぜん動運動を促すには、適度な運動が効果的です。筋肉に刺激を与えることでお腹周りの血行がよくなり、胃や腸の働きを活性化します。腹部を刺激するような軽いエクササイズや体操がおすすめです。

- *ウォーキング〜足をしっかり動かし、腹筋を刺激するように歩きましょう。便を押し出す働きをする腸腰筋も鍛えられます。
- *腸のマッサージ〜両手をお腹の上に重ねておき、時計回りに円を描くようにグルグル…約20回。やさしくなでるとお腹も温まります。

【新刊紹介】

「学級づくりと授業に生かすカウンセリング」
大友秀人(本学教員)ほか共同編集
2022年1月／ぎょうせい

「韓国の歴史」
水野俊平(本学教員)著
2021年9月／河出書房新社

19
21
20
22
23

行事予定表（2022年6月13日現在）

6/26日	第1回オープンキャンパス	9/20四	3年次履修相談・登録・成績不振者面談(予定)
7/22金	振替講義日(月曜日)	9/21金	4年次履修相談・登録・成績不振者面談(予定)
8/5金	前期講義終了	9/22金	全学年履修登録訂正日
8/6土	夏季休業開始	9/25日	第3回オープンキャンパス
8/6土・7日	第2回オープンキャンパス	9/26月	後期講義開始
8/9四	前期成績開示(予定)、2年次所属学科発表(予定)	10/21金	総合型選抜Ⅰ期試験準備日
8/12金～16四	前期成績異議申し立て受付	10/23日	総合型選抜Ⅰ期試験日
8/13土～16四	全学休業日	11/8四	振替講義日(木曜日)
9/10土	卒業延期者前期修学指導面談(予定)	11/12土	出席不良者後期修学指導面談
9/11日	夏季休業終了	11/25金	学校推薦型選抜(指定校制・公募制)試験準備日
9/13四	1年次履修相談・登録・成績不振者面談(予定)	11/27日	学校推薦型選抜(指定校制・公募制)試験日
9/14四	2年次履修相談・登録・成績不振者面談(予定)	12/16金	総合型選抜Ⅱ期・学校推薦型選抜(併設校)試験準備日
9/15四・16金	北海商科祭準備日(予定)	12/18日	総合型選抜Ⅱ期・学校推薦型選抜(併設校)試験日
9/16金	高校生懸賞作文募集締切日	12/27四	冬季休業開始
9/17土	北海商科祭(予定)	2023/1/9月	冬季休業終了(1/10四)講義再開)

* カウンセリングルームより （ニュースレターは次号掲載予定です）

◆ カウンセリングルームの利用方法 ◆

利用時間：[火曜日] 13：00～17：00 まずは、メールで予約をしてください。
E-mail：soudan@hokkai.ac.jp

予約の際は、①氏名 ②学籍番号 ③希望日時 をお知らせください。その際、差し支えなければ簡単な相談内容も書き添えてください。
折り返し、相談日時などについてのメールをさしあげます。

《大学問い合わせ受付時間》■本学連絡先(代表) 011-841-1161

◇月～金 9：00～12：40 13：30～16：00 ◇土 9：00～12：40
*但し 日曜日・祝日・創立記念日(5月16日)・夏季休業(8月中旬)・年末年始は除く

* 新型コロナウイルス感染拡大による影響で記事の掲載内容に変更が生じる場合があります。
随時大学ホームページ（<https://www.hokkai.ac.jp/>）でご確認ください。